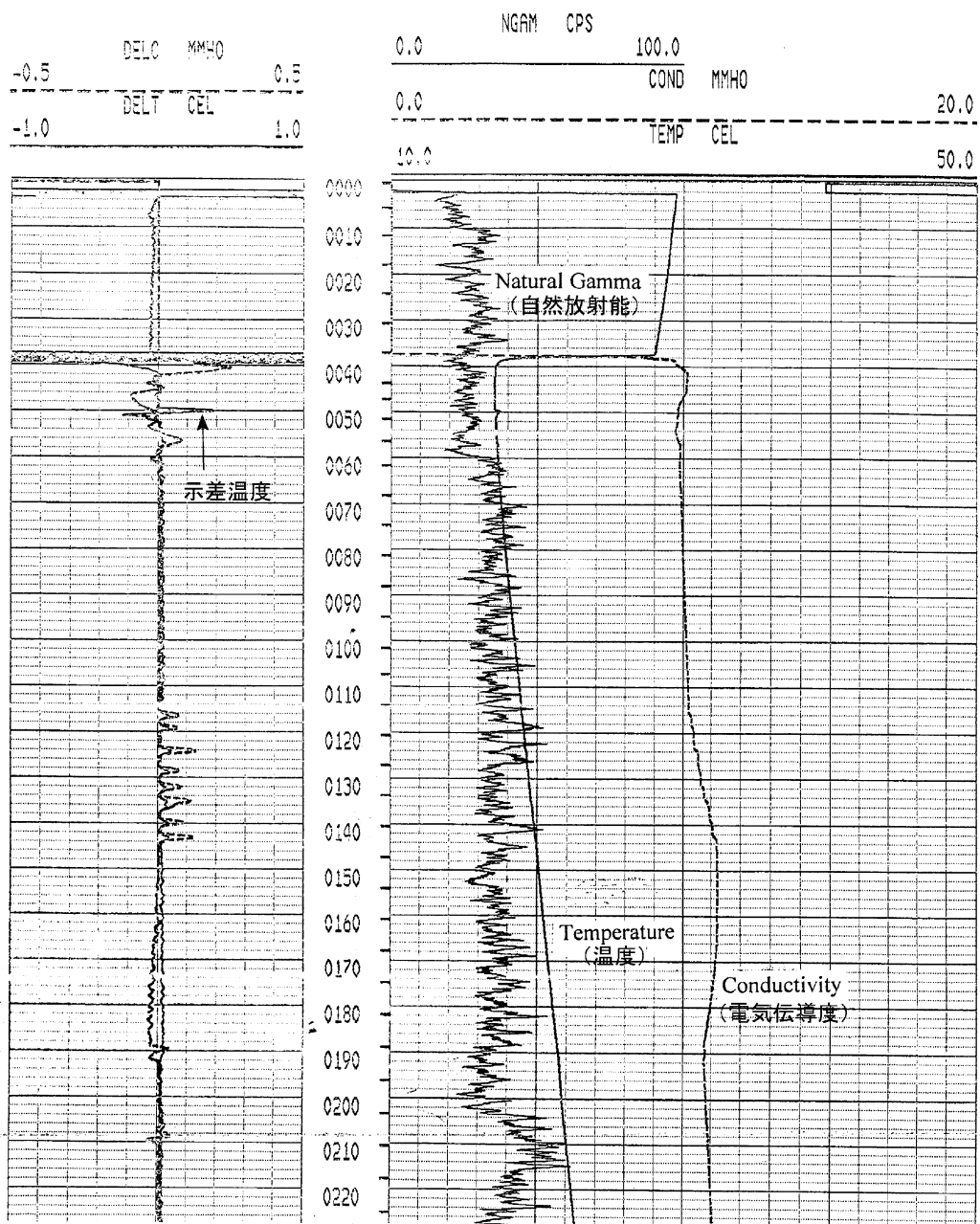
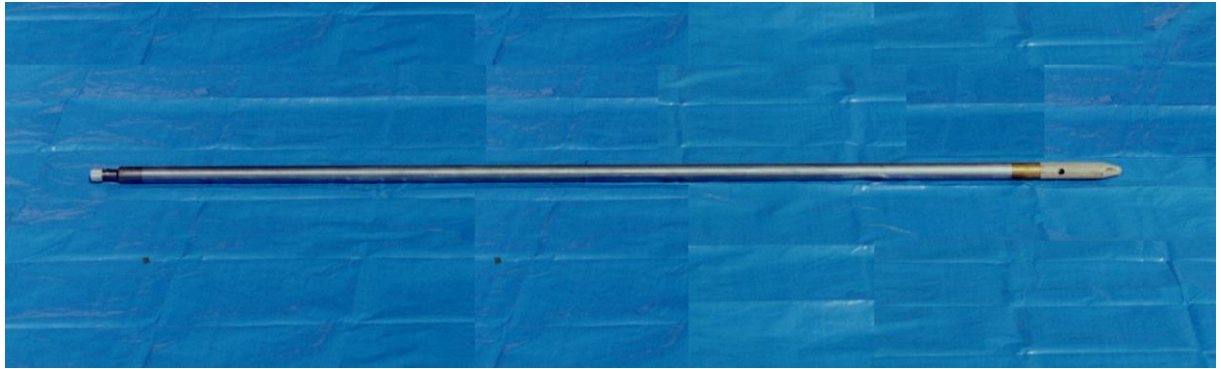




電導度/温度/自然放射能 檢層



檢層記錄例

電導度／温度プローブの仕様／用途

測定種目	使用条件	主な用途（注1）
電気伝導度 温度 示差温度（計算による） 自然放射能	最大深度：2,000m 適応孔径：45 mm以上 検層速度：4～6m／分 使用環境：125℃以下 電気伝導度のみ 孔内水が必要（注2）	異なった水質帯の識別 地下水の動きの把握 温度分布・温度変化箇所の把握 地層境界の把握 断層破碎帯の把握 地下水・温泉貯留層の把握 ↓ 既存井戸のメンテナンス計画の立案 孔明管の最適挿入位置の決定

- ★ 孔内水の電気伝導度及び温度の変化から、既存の水井戸・温泉井戸の地層水の流入／流出箇所を把握。最善のメンテナンス計画立案に不可欠の検層。
- ★ 検層データのない古い既存井戸では、ケーシング管のため電気検層が不可能。しかし、放射能検層により地層情報を取得。
- ★ 掘削中の水／温泉井戸で、帯水層に遭遇し泥水が希釈されると、電導度の変化として検出。これは孔明管の最適な挿入位置の有力情報。
- ★ 当社の検層システムは、1本のプローブで各種のデータをデジタル変換し電送。このため、4種目の検層を1回の測定で完了。検層作業時間の大幅短縮。

既存井戸の多くは複数箇所に孔明管を挿入している。だが、どの位置から地下水／温泉水が実際に出ているか？——これまでほとんど不明であった。ここに紹介する、電導度／温度検層の場合、周囲の地層との間で地層水の出入りがあると、電導度が敏感に変わり、この位置を確実に捕らえることができる。また、別に紹介する「フローメータ検層」と併用すれば、さらに詳しく水の動きを把握でき、最も効果的なメンテナンス計画がたてられる。

（注1）

測定種目	概要	主な用途
電気伝導度	孔内水の電導度の分布	流入・流出箇所の識別 貯留層の把握
温度	孔内の温度	温度分布の把握 一睡・湧水箇所の把握
示差温度	1m上部の地点との温度差（計算）	温度変化箇所の明確化・強調
自然放射能	地層から受信器に飛来するγ線数（*）	地層境界の把握 断層破碎帯の推定

（*）：1秒当たりのパルス数（cps）で表示

（注2）

測定種目	ケーシング管あり	孔内水位から上部
電気伝導度	測定可	測定不可
温度・自然放射能	測定可	測定可



株式会社 ハギ・ボー

TEL 055-243-4777(代)

〒400-0845 甲府市上今井町 740-4

FAX 055-243-4722

info@hagibor.co.jp

<http://www.hagibor.co.jp>